

1. 事業の位置付け

事務事業名	ひらつか市民活動ファンド事業		
事業担当	市民部 協働推進課		
予算科目	00-xxxxxx-xx0000	事業種類	○ ハード ● ソフト
行政改革の位置付け	12	協働のまちづくりと市民主体の新たな自治のしくみをはぐくむために	
	01	協働のまちづくりと市民主体の新たな自治のしくみをはぐくむために	
	03	市民活動を支えるしくみづくり	
根拠法令等			
対象・受益者		事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
市民活動を財政的に支援することにより、市民活動の活性化が図られています。		市民活動の活性化を図るため、市は公益信託の委託者として受託者と共に、助成を希望する団体の公募や運営委員会による公開審査会及び報告会を開催します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	市民活動ファンド応募団体数						単位	団体
	説明・算定式	-							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標			14	15	16	16	16	
	実績			15					
活動指標②	指標名	-						単位	-
	説明・算定式	-							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標			-	-	-	-		
	実績								
成果指標①	指標名	市民活動ファンド助成団体数						単位	団体
	説明・算定式	-							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標			9	10	11	12	12	
	実績			11					
成果指標②	指標名	-						単位	-
	説明・算定式	-							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標			-	-	-	-		
	実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成20年度の主な取組と成果									
広報紙やHPでの周知を図るとともに、ファンドの申請にあわせて、説明会や助成金対策講座を行い、申請件数を19年度（11件）より4件増やし、20年度は15件となりました。									
平成20年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	新たな事業に取り組もうとする団体や活動を軌道に乗せようと努力している団体を財政面で支援することは、市民活動の発展のために必要です。	● 高 ○ 低
有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	助成を受けて、さらに事業を発展させたり、新しい事業に取り組むことができました。また、公開報告会で、運営委員から評価や助言を受けることは、活動をさらに発展させるための足がかりになっています。	● 高 ○ 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	市民活動の財政的支援をしていくことは、地域の課題を自分たちで解決していく市民への支援であり、市民力・地域力をつけることにもつながります。	● 高 ○ 中 ○ 低	
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	年間の助成総額の上限が決められており、削減や改善にはあたらなと考えます。	● 高 ○ 中 ○ 低	
今後に向けた課題の分析 申請書類の記入などの助言をするなど、市民活動団体が利用しやすいように相談に応じていく必要があります。また、残高が1200万円ほどになってきたので、今後、ファンドのあり方等を検討していく必要があります。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容				市民活動ファンドの募集、公開審査会、報告会の開催	市民活動ファンドの募集、公開審査会、報告会の開催	市民活動ファンドの募集、公開審査会、報告会の開催	市民活動ファンドの募集、公開審査会、報告会の開催	市民活動ファンドの募集、公開審査会、報告会の開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0	0	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	3,357	3,343	3,343	3,343	3,343
フルコスト (A+B)		0	0	3,357	3,343	3,343	3,343	3,343

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
● 現状の規模で継続 ○ 拡大して継続 ○ 縮小して継続 ○ 廃止 ○ 休止 ○ 終了 ○ 他事業と統合	
<判断理由> 公益信託ひらつか市民活動ファンド助成規程により、助成総額は年度300万円と決められており、この規模で毎年実施します。	
平成22年度の取組方針	
申請団体の件数を増やすため、申請時期に合わせた説明会や助成金の獲得講座は、市民活動団体からの評価も高く、今後も続けていきます。	
課長コメント	外部審査員による公開審査と評価を行うことで、公平性、透明性を確保しています。今後も制度の普及に努め、新規に申請する団体の発掘に努めたいと考えています。

1. 事業の位置付け

事務事業名	サポートファーマー育成事業		
事業担当	経済部 農水産課		
予算科目	01-060103-040000	事業種類	○ ハード ● ソフト
行政改革の位置付け	12	協働のまちづくりと市民主体の新たな自治のしくみをはぐくむために	
	01	協働のまちづくりと市民主体の新たな自治のしくみをはぐくむために	
	03	市民活動を支えるしくみづくり	
根拠法令等			
対象・受益者	平塚市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： JA湘南】		
目的・目標		事業の概要	
農業者以外の市民が農業に従事できるよう、農業技術研修などを実施することにより、援農組織へ登録する援農者や新規就農者などの担い手が育成されています。		農業の担い手の育成のため、研修農場で作付け、肥培管理、収穫などの農業技術研修を開催します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	サポートファーマー研修会開催回数						単位	回
	説明・算定式	農場での実技研修および講義研修の回数							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		47	47	47	47	47	47	
	実績		44	44					
活動指標②	指標名	-						単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標			-	-	-	-		
	実績								
成果指標①	指標名	援農者数						単位	
	説明・算定式	研修会修了後、援農組織などへの登録者数							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		10	14	18	21	24	27	
	実績		11	18					
成果指標②	指標名	-						単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標			-	-	-	-		
	実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成20年度の主な取組と成果									
農家の高齢化や後継者不足が進行する中で、定年退職者や農業に興味がある市民を対象に農業研修を実施し、農作業の手伝いや遊休農地を解消する等の援農活動をする新たな担い手の育成に寄与することができました。20年度は新たに7名が登録し、JA湘南サポートバンクへの登録者数は合計18名になりました。									
平成20年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	定年退職者や農業に興味のある市民にとって、専門的な指導のもと一年間をとおり、指導が受けられることは、食の安全性も含め、研修の参加者数から判断すると市民ニーズが高いです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	研修会の受講により専門的な知識、農家としてのノウハウを習得できることから、有効性が高いです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	参加者より年間、8000円の負担金を徴収し、市で借用している土地の使用料に充当しています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	収穫した種や苗等を翌年度用に保存し、経費の削減を図ります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 研修内容の充実と、卒業生のフォローアップが今後の課題です。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			研修会の開催、援農ボランティア制度の検討	研修会の開催、援農ボランティア制度を創設	研修会の開催、援農ボランティア制度を周知	研修会の開催、援農ボランティア制度の周知	研修会の開催、援農ボランティア制度の周知	研修会の開催、援農ボランティア制度の周知
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	86	165	234	234	234	234
	一般財源	0	378	519	677	677	677	677
事業費 (A)		0	464	684	911	911	911	911
執行率 (%)		0.00	47.25	69.65				
内訳	職員 (人)	0.00	0.65	0.65	1.15	1.15	1.15	1.15
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	5,455	5,455	9,610	9,610	9,610	9,610
フルコスト (A+B)		0	5,919	6,139	10,521	10,521	10,521	10,521

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 農業従事者の高齢化、後継者不足が進行する中で、農業者以外の市民に補助的労働力として協力していただくため、継続的に本事業を開催し、将来援農活動ができる新たな担い手を育成します。	
平成22年度 of 取組方針	
研修内容の充実を図り、援農ボランティア制度の周知を行います。	
課長コメント	地域農業の持続的な発展を図るため、農業者の高齢化や後継者不足を補完するサポートファーマーの育成を継続するものです。

1. 事業の位置付け

事務事業名	環境活動支援事業		
事業担当	環境部 環境政策課		
予算科目	01-040104-020000	事業種類	○ ハード ● ソフト
行政改革の位置付け	12	協働のまちづくりと市民主体の新たな自治のしくみをはぐくむために	
	01	協働のまちづくりと市民主体の新たな自治のしくみをはぐくむために	
	03	市民活動を支えるしくみづくり	
根拠法令等			
対象・受益者	環境分野の市民活動団体、市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他】 【協働： 環境ファンクラブ】		
目的・目標		事業の概要	
環境の保全や創造の重要性に気付き、考え、それぞれの立場に応じて自発的、積極的に行動する市民、市民団体、事業者が、活発な環境保全活動を行うとともに、先導的な取組を広域的に発信しています。		環境ファンクラブ登録会員のネットワーク化を図るため、活動発表会などを開催するとともに、環境団体などの活動の活性化を図るため、団体活動などを支援します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	活動発表会等開催回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		2	2	4	4	4	4	
	実績		2	3					
活動指標②	指標名	-						単位	-
	説明・算定式	-							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標			-	-	-	-		
	実績								
成果指標①	指標名	環境ファンクラブ登録会員数						単位	人
	説明・算定式	-							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		65	70	80	90	100	120	
	実績		62	77					
成果指標②	指標名	-						単位	-
	説明・算定式	-							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標			-	-	-	-		
	実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成20年度の主な取組と成果									
環境フェアなどの機会に、環境ファンクラブ会員によるパネル展示会や環境教室等を開催するとともに、会員向けの環境学習講座を開催し、環境活動実践者の支援・拡大や会員相互の交流を図りました。また、環境保全活動に取り組む団体を主に資金面で支援する環境活動支援事業を始めました。									
平成20年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市民が主体となって環境活動に取り組んでいくことを促進していくため、環境ファンクラブ等との協働により推進していく本事業には、市が関与する高い必要性があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	環境ファンクラブ会員相互の交流やパネル展示会、環境教室等により、活動の輪が広がり、レベルアップも図られています。市民活動団体と市との協働も実践できています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	活動の発展・拡大に伴い、事務局機能や専門機関とのコーディネートなどを担う職員の業務が増えています。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	事務局機能を含め、市民活動団体と市との協働の役割分担について、更に検討していく余地があります。また、環境活動支援事業については、今後、他の支援策と調整していく必要があります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 必要性、有効性の総合評価は高いが、市民活動団体等と市との役割分担、担当職員の業務増への対応などについて、更に検討していく必要があります。また、環境活動支援事業については、今後、他の支援策と調整していく必要があります。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			活動発表会、研修会の開催など	活動発表会、研修会開催など及び団体等支援	活動発表会、研修会開催など及び団体等支援	活動発表会、研修会開催等及び団体等支援	活動発表会、研修会開催等及び団体等支援	活動発表会、研修会開催等及び団体等支援
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	74	327	318	318	318	318
事業費 (A)		0	74	327	318	318	318	318
執行率 (%)		0.00	117.46	90.08				
内訳	職員 (人)	0.00	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	4,364	4,364	4,346	4,346	4,346	4,346
フルコスト (A+B)		0	4,438	4,691	4,664	4,664	4,664	4,664

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 地球温暖化など、深刻さを増す環境問題に対応していくため、市民活動団体との協働により実施する本事業は、さらに充実させていきます。	
平成22年度の実行方針	
委託の拡大を含め、協働による役割分担や事業の推進方法等を見直し、事業の拡大・発展を図ります。また、環境活動支援事業については、今後、他の支援策との調整を進めます。	
課長コメント	地球温暖化をはじめとする環境問題については、市民・事業者が自ら取り組むべき課題として認識し、自主的・自律的な保全活動を実践する必要があります。協働による役割分担や委託の拡大など事業の推進方法等の見直しや他の支援策との調整などの課題を検討し、事業の充実を図りたいと考えています。

1. 事業の位置付け

事務事業名	協働のまちづくりへのネットワーク構築事業		
事業担当	まちづくり事業部 みどり公園・水辺課		
予算科目	00-xxxxxx-xx0000	事業種類	○ ハード ● ソフト
行政改革の位置付け	12	協働のまちづくりと市民主体の新たな自治のしくみをはぐくむために	
	01	協働のまちづくりと市民主体の新たな自治のしくみをはぐくむために	
	03	市民活動を支えるしくみづくり	
根拠法令等			
対象・受益者		事業期間	～平成21年度
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/>		
目的・目標		事業の概要	
緑化空間、道路空間及び水辺空間において、管理者（国、県、市）、市民及び関係団体相互のネットワークを構築することにより、市民と市の協働のまちづくりが展開されています。		市民と市の協働のまちづくりを推進するため、緑化空間、道路空間及び水辺空間の管理者（国、県、市）、市民及び関係団体相互のネットワークを構築します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	ネットワーク構築のための検討会議の開催数						単位	回
	説明・算定式	庁内会議や施設管理者、市民関係団体を交えた検討会議において、緑化空間などの管理を市民との協働により進めるためのネットワークづくりを行う。							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標実績			2	2				
活動指標②	指標名	-						単位	-
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標実績			-					
成果指標①	指標名	ネットワーク構築団体数						単位	団体
	説明・算定式	ネットワーク構築済団体数							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標実績			-	-				
成果指標②	指標名	-						単位	-
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標実績			-	-				
進捗状況	③：遅れている								
	遅れている理由								
平成20年度の主な取組と成果									
土木補修課との協議の中で、道路と公園の団体では活動形態や市からの助成等が異なる状況であり、ネットワークを構築すべき方向性、必要性を見出すことができませんでした。									
平成20年度の検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	身近な公園、道路が何時でもきれいであってほしいと誰でも思いますが、各々の管理の充実が求められており、ネットワークを構築しての対応を望むものとは考え難いです。
有効性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	公園は安全で、憩える場であること、道路は安全に通行できることが必要であることなどの都市施設としての管理のあり方の違いから、同一の市民満足度を高めるとは言い難いです。	○ 高 ● 低
妥当性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	環境美化の観点からは全ての公共空間に必要なものですが、公園、道路に求められるものには違いがあり、公園と道路の管理等の団体をつくることの妥当性は低いと考えます。	○ 高 ○ 中 ● 低
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	公園と道路においては、市民からの要望も多く、ネットワーク構築により業務改善が複雑になるものと考えられます。	○ 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 公園における活動団体の更なる発展は目指すが、敢て道路関係団体とのネットワークづくりは行わない方向とします。					

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容				ネットワークづくりへの課題整理	ネットワークづくりへの課題整理			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0	0	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	0	418	0	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	0	418	0	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
○現状の規模で継続 ○拡大して継続 ○縮小して継続 ●廃止 ○休止 ○終了 ○他事業と統合	
<判断理由> 公園と道路で緑という観点からは共通部分がありますが、都市施設としての管理形態の違いから各団体の取組みも異なるため、敢えてネットワークをその領域を超えてまで、構築する必要はないと判断します。	
平成22年度取組方針	
課長コメント	公園、道路と各々の管理において、協力団体相互の連携を深めるものであり、その管理範囲を超えてのネットワーク構築の必要性はないと考えます。

1. 事業の位置付け

事務事業名	外国籍市民ネットワークづくり支援事業		
事業担当	市民部 文化・交流課		
予算科目	01-030106-160000	事業種類	○ ハード ● ソフト
行政改革の位置付け	12	協働のまちづくりと市民主体の新たな自治のしくみをはぐくむために	
	01	協働のまちづくりと市民主体の新たな自治のしくみをはぐくむために	
	03	市民活動を支えるしくみづくり	
根拠法令等			
対象・受益者	市民・外国籍市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： 市民・外国籍市民・自治会など】		
目的・目標		事業の概要	
外国籍市民相互の連携、外国籍市民と市民及び行政との連携が図られています。		外国籍市民、市民、行政とのネットワーク化を進めるため、コーディネーターの育成や情報交換会、交流会などを開催します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	情報交換会・交流会開催日数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		3	7	7	8	8	8	
	実績		3	8					
活動指標②	指標名	-						単位	-
	説明・算定式	-							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標			-	-	-	-		
	実績								
成果指標①	指標名	情報交換会・交流会への参加人数						単位	人
	説明・算定式	-							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		15	25	80	90	90	90	
	実績		61	81					
成果指標②	指標名	-						単位	-
	説明・算定式	-							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標			-	-	-	-		
	実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成20年度の主な取組と成果									
ネットワーク化に向けて外国籍市民や市民ボランティアとの情報交換会や交流会を開催し、ネットワーク化への理解が得られました。									
平成20年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市内在住の外国籍市民が増加する中で、外国籍市民同士及び市民と外国籍市民との連携は今後不可欠なものであり、必要性は高いです。	● 高 ○ 低
有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	情報交換会や交流会等を継続的に開催していくことにより、外国籍市民、市民、自治会等相互の理解を深め、協力し合う地域づくりを進めていきます。	● 高 ○ 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input checked="" type="checkbox"/> その他	外国籍市民が日本語を十分理解できなかったり、生活習慣の違いがあったりと、地域や市民とのコミュニケーションがうまくできないことがあるため、情報伝達手段の形成としてネットワーク作りが妥当であります。	● 高 ○ 中 ○ 低	
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	市がコーディネートを主に担当し、市民及び外国籍市民の自主性を尊重し、協働により事業活動を進めます。	● 高 ○ 中 ○ 低	
今後に向けた課題の分析 ネットワーク化には外国籍市民相互や外国籍市民と自治会などとの連携役となるコーディネータが必要となることから、順次育成していきます。また、情報交換会や地域との交流会なども開催していくが、連携を高めていくには、外国籍市民や自治会員等の地域住民の理解と協力が必要です。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			コーディネータの人選、交流会などの開催	コーディネータの育成、交流会などの開催	コーディネータの育成、交流会などの開催	コーディネータの育成、交流会などの開催	コーディネータの育成、交流会などの開催	コーディネータの育成、交流会などの開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	74	122	122	122	122
事業費 (A)		0	0	74	122	122	122	122
執行率 (%)		0.00	0.00	37.00				
内訳	職員 (人)	0.00	0.50	0.65	0.55	0.55	0.55	0.55
	再任用 (人)	0.00	0.10	0.00	0.05	0.05	0.05	0.05
人件費 (B)		0	4,539	5,455	4,769	4,769	4,769	4,769
フルコスト (A+B)		0	4,539	5,529	4,891	4,891	4,891	4,891

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
<input checked="" type="checkbox"/> 現状の規模で継続 <input type="checkbox"/> 拡大して継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 他事業と統合	
<判断理由> 外国籍市民相互や外国籍市民と自治会等の地域住民とが相互に理解し合うため、ネットワーク化の連携役となるコーディネータの育成や情報交換会、交流会、研修会等を継続的に実施する必要があります。	
平成22年度の実行方針	
外国籍市民、市民、自治会等多方面からの理解と協力が必要となることから、事業の成果が得られるために継続的な事業を展開してまいります。	
課長コメント	ネットワーク化の浸透には、相当の時間を要するものと思われませんが、外国籍市民同士及び市民と外国籍市民との連携は相互理解の点からも有効であることから、ネットワークづくり事業を継続して進めていく必要があると考えます。

1. 事業の位置付け

事務事業名	市民ボランティア育成支援事業		
事業担当	市民部 協働推進課		
予算科目	01-030106-050000	事業種類	○ ハード ● ソフト
行政改革の位置付け	12	協働のまちづくりと市民主体の新たな自治のしくみをはぐくむために	
	01	協働のまちづくりと市民主体の新たな自治のしくみをはぐくむために	
	03	市民活動を支えるしくみづくり	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
多くの市民が市民活動に参加し、安心した暮らしを支えるボランティア活動を活発に行っています。		中高生向けのボランティア活動体験学習の「ユースボランティア」や定年退職をした市民などの市民活動への参画を推進するための講座の開催をします。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	ボランティア講座、交流会等開催回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		7	10	12				
	実績		9	11					
活動指標②	指標名	-						単位	-
	説明・算定式	-							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標			-	-				
	実績								
成果指標①	指標名	ユースボランティア参加者数						単位	人
	説明・算定式	-							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		110	115	120				
	実績		113	141					
成果指標②	指標名	-						単位	-
	説明・算定式	-							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標			-	-				
	実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成20年度の主な取組と成果									
青少年にボランティア活動を体験してもらう「ユースボランティア」（141人参加）や、定年退職を迎えた方などと市民活動団体が直接交流できる場として「ボランティア博覧会」（66人参加）を設定し、ボランティア活動に対する関心を高めることができました。また、市内の2高校と連携し、文化祭にボランティア相談ブース等を出展しました。									
平成20年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市民活動センターを拠点として、より多くの市民がボランティア活動に参加するための事業の実施が必要であると考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	多くの市民がボランティア活動に参加するためには、事業を継続して実施することが有効です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	ボランティア活動を行う市民を増やし、市民活動が活発に行われるために、ボランティア活動を体験したり、市民活動団体と交流できる事業は必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	ボランティア体験や市民との交流に、市民活動団体が主体的にかかわっています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	

今後に向けた課題の分析

市内高校との連携によりボランティア相談等の事業を行いました。市民活動団体と交流したり、活動の現場を見学するなど、関連事業を実施している市民活動・普及啓発事業のなかでより多くの高校と連携ができるよう検討していきます。

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			講座の開催	講座の開催	講座の開催			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	35	60	0	0	0
事業費 (A)		0	0	35	60	0	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	58.33				
内訳	職員 (人)	0.00	0.50	0.50	0.55	0.00	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	4,196	4,196	4,596	0	0	0
フルコスト (A+B)		0	4,196	4,231	4,656	0	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
<input type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input checked="" type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> たくさんの市民がボランティア活動に参加するための体験の場を提供していくことは必要であり、今後は、関連した事業を多く実施している市民活動・普及啓発事業の中で継続していくことが望ましいと考えます。	
平成22年度取組方針	
多くの市民がボランティア、市民活動に参加する機会を持つために、市民活動・普及啓発事業の中で、引き続き行っていきます。	
課長コメント	本市には多くの高校があり、高校との連携をより一層深め、成人として社会参加する前段階にある高校生のボランティア意識を醸成できる機会の創出を充実していきたいと考えています。

1. 事業の位置付け

事務事業名	人材発掘・活用事業		
事業担当	社会教育部 社会教育課		
予算科目	00-xxxxxx-xx0000	事業種類	○ ハード ● ソフト
行政改革の位置付け	12	協働のまちづくりと市民主体の新たな自治のしくみをはぐくむために	
	01	協働のまちづくりと市民主体の新たな自治のしくみをはぐくむために	
	03	市民活動を支えるしくみづくり	
根拠法令等	社会教育法第22条		
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
各地域における人材の発掘と登録の推進が図られ、各講座の講師に活用されています。		生涯学習活動の推進のため、地域における人材の発掘・登録とボランティアグループを育成・活用します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	生涯学習指導者登録者数						単位	人
	説明・算定式	-							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		200	230	260				
	実績	200	200						
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
成果指標①	指標名	生涯学習指導者を活用した事業の開催回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		300	510	520				
	実績	508	510						
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
進捗状況	②：若干遅れている								
	遅れている理由	年度により指導者の登録解除に変動があるためです。							
平成20年度の主な取組と成果									
講師として登録された地域の方々に依頼して事業を行ったことにより、生涯学習活動の推進や人材の育成が図れました。									
平成20年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	地域の方が講座やサークルで身につけた技能や知識を、地域の方々に伝授していく場として講座を活用するもので、有効であります。 ● 高 ○ 低
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	地域の埋もれた人材を如何に発掘して活用していくことが、市全体の地域力、市民力の向上に役立つもので、妥当であります。 ● 高 ○ 中 ○ 低
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	ボランティア講師を活用することは、各々が持つ技能や学習成果を広める役割を持ち、人材の育成や活用につながる他に、経費減少等の効率の可能性もあります。 ● 高 ○ 中 ○ 低

今後に向けた課題の分析

地域の人材をいかに発掘し、活用していくか、庁内でも各課が様々な取組をしていますが、その現状はなかなか厳しく、今後も新たな施策を展開していかなければなりません。

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			指導者登録名簿作成、ボランティア育成活用	指導者登録名簿作成、ボランティア育成活用	指導者登録名簿作成、ボランティア育成活用	指導者登録名簿作成、ボランティア育成活用	指導者登録名簿作成、ボランティア育成活用	指導者登録名簿作成、ボランティア育成活用
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0	0	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内訳	職員 (人)	0.00	2.80	0.40	0.45	0.45	0.45	0.45
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	23,495	3,357	3,761	3,761	3,761	3,761
フルコスト (A+B)		0	23,495	3,357	3,761	3,761	3,761	3,761

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
<input checked="" type="checkbox"/> 現状の規模で継続 <input type="checkbox"/> 拡大して継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 他事業と統合	
<判断理由> 引き続き地域の人材の発掘及び活用を行い、生涯学習活動の充実に努めます。	
平成22年度取組方針	
地区公民館での自主事業や団塊の世代教室などの受講者や、地域でさまざまな技能を持った人材の発掘と活用について、内容や方法などを検証しながら、引き続き研究して取り組んでいきます。	
課長コメント	地域で芸術、文化等に秀でた人を発掘し、また人材登録されている人の活用の充実に努め、生涯学習活動の推進を図ります。

1. 事業の位置付け

事務事業名	市民・企業・大学等交流事業		
事業担当	企画部 企画課		
予算科目	01-020106-020000	事業種類	<input type="radio"/> ハード <input checked="" type="radio"/> ソフト
行政改革の位置付け	12	協働のまちづくりと市民主体の新たな自治のしくみをはぐくむために	
	01	協働のまちづくりと市民主体の新たな自治のしくみをはぐくむために	
	03	市民活動を支えるしくみづくり	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 市民団体等 <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
市民、企業、大学などが相互に発展し、心豊かな地域社会となるよう、それぞれがもつ知的・人的資源が活用され、相互の交流が活発に行われています。		市民、企業、大学などの交流を促進するため、文化・生涯学習、産業、スポーツ、福祉、環境などの各分野における交流事業の充実を図ります。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	交流事業数						単位	事業
	説明・算定式	交流事業数							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		10	10	8	8	8	9	
	実績		10	10					
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
成果指標①	指標名	交流事業参加者数						単位	人
	説明・算定式	—							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		16,600	16,650	8,450	8,450	8,450	8,450	
	実績		41,982	31,970					
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成20年度の主な取組と成果									
平塚市民・大学交流委員会の文化生涯学習、産業、スポーツ、福祉、環境の5つの推進部会により、10事業を実施し、相互の交流が活発に行われました。各事業が、大学の参加により活気あるものとなりました。									
平成20年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市民と大学との交流事業を実施するに当たり、平塚市民・大学交流委員会の組織は必要なものであり、その中で本市が調整することによって、協働による事業が実施されています。	● 高 ○ 低
有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	事業計画・実施においては、平塚市民・大学交流委員会の5つの推進部会により、協議、実施しており、市民ニーズを取り込んだ満足度の高い事業です。	● 高 ○ 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	5つの推進部会により、10事業が実施され、参加者も多く妥当性は高いと判断します。	● 高 ○ 中 ○ 低	
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	市民と大学との交流事業の実施に当たっては、経費節減に努めます。	○ 高 ● 中 ○ 低	

今後に向けた課題の分析

市民、企業、大学等との交流を促進するに当たって、様々な団体、東海大学、神奈川大学、本市で組織された平塚市民・大学交流委員会は、事業促進母体として適しています。平成21年度から、産業推進部会事業を発展的に担当課事業とし、新たに観光推進部会を設置し、研究と実践を目的とした事業を展開します。

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			市民・大学交流委員会による交流事業など	市民・大学交流委員会による交流事業など	市民・大学交流委員会による交流事業など	市民・大学交流委員会による交流事業、神大との交流20周年記念事業	市民・大学交流委員会による交流事業等	市民・大学交流委員会による交流事業等
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	2,215	2,030	2,138	3,138	2,138	2,138
事業費 (A)		0	2,215	2,030	2,138	3,138	2,138	2,138
執行率 (%)		0.00	100.00	91.65				
内訳	職員 (人)	0.00	0.60	0.60	0.50	0.50	0.50	0.50
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	5,035	5,035	4,178	4,178	4,178	4,178
フルコスト (A+B)		0	7,250	7,065	6,316	7,316	6,316	6,316

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
○現状の規模で継続 ●拡大して継続 ○縮小して継続 ○廃止 ○休止 ○終了 ○他事業と統合	
<判断理由> ・市民と東海大学・神奈川大学と本市の交流は今後とも必要であり、平塚市民・大学交流委員会での事業推進を図っていきます。 ・市と大学との交流においては、神奈川大学と交流20周年になることから、記念事業を実施します。	
平成22年度取組方針	
・平塚市民・大学交流委員会の5つの推進部会で9の事業を実施します。平成21年度から新たに加わった観光推進部会については研究と実践を進め、事業の充実を目指します。 ・神奈川大学との交流20周年を記念した事業を実施します。	
課長コメント	本事業は、大学、企業などとの連携による幅広い分野における市民との交流環境を創出するもので、必要性は高いと考えます。時代に即した事業内容としていくことで、活発な交流を目指します。

1. 事業の位置付け

事務事業名	産学共同研究支援事業		
事業担当	経済部 産業振興課		
予算科目	01-070102-080000	事業種類	○ ハード ● ソフト
行政改革の位置付け	12	協働のまちづくりと市民主体の新たな自治のしくみをはぐくむために	
	01	協働のまちづくりと市民主体の新たな自治のしくみをはぐくむために	
	03	市民活動を支えるしくみづくり	
根拠法令等	平塚市産学共同研究事業化支援補助金交付要綱、平塚市産学公連携推進コーディネーター派遣要綱		
対象・受益者	市内中小企業、大学等	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： 大学等 】		
目的・目標		事業の概要	
技術開発や新製品が開発され、産業の活性化が図られています。		中小企業の製品開発などを促進するため、中小企業が抱える諸問題に対し、専門知識などを有するコーディネーターの派遣など、産学公の共同研究による新製品、技術開発などの事業化を支援します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	平塚市産学共同研究事業化支援補助金交付件数						単位	件
	説明・算定式	-							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		4	4	4	5	5	5	
	実績		5	6					
活動指標②	指標名	-						単位	-
	説明・算定式	-							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標			-	-	-	-		
	実績								
成果指標①	指標名	市内中小企業と大学等との共同研究の件数						単位	件
	説明・算定式	-							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		4	4	4	5	5	5	
	実績		5	6					
成果指標②	指標名	-						単位	-
	説明・算定式	-							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標			-	-	-	-		
	実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成20年度の主な取組と成果									
製造業を営む企業を訪問し、大学との共同研究に対するニーズを把握しました。また、共同研究事業化支援として6件の補助金を交付し、産業の活性化を図りました。									
平成20年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	中小企業では独自の研究施設やノウハウを持たないことが多いため、市内中小企業と大学等との共同研究により新製品の開発、経営革新を図ることに對して支援することは必要性は高いです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	中小企業の技術力・開発力の向上につながるため、有効性は高いです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	中小企業の技術開発が図られ、産業の発展を持続させることを支援するため、妥当性は高いです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	産業分野が多岐にわたるため、ニーズの掘り起こしを効率的に行うことが難しいため、商工会議所等との連携や企業訪問等を行うことにより効率的な事業運営を図っていきます。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	
今後に向けた課題の分析 製造業を中心としながら、他の産業分野との連携を含めたニーズの掘り起こしをする必要があります。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			コーディネーターの派遣、共同研究への助成	コーディネーターの派遣、共同研究への助成	コーディネーターの派遣、共同研究への助成	コーディネーターの派遣、共同研究への助成	コーディネーターの派遣、共同研究への助成	コーディネーターの派遣、共同研究への助成
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	1,832	2,573	2,170	2,170	2,170	2,170
事業費 (A)		0	1,832	2,573	2,170	2,170	2,170	2,170
執行率 (%)		0.00	69.92	98.21				
内訳	職員 (人)	0.00	0.35	0.35	0.25	0.25	0.25	0.25
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費 (B)		0	2,937	2,937	3,814	3,814	3,814	3,814
フルコスト (A+B)		0	4,769	5,510	5,984	5,984	5,984	5,984

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 中小企業の技術開発等が図れることから共同研究の補助は継続していくが、コーディネーターの派遣については、企業からの要請が少ないので、現状を維持しながらも、制度の再構築に向けて検討をしていきます。	
平成22年度の取組方針	
大学は工業分野の知的財産が多く蓄積されているため、引き続き工業分野を中心に、他の産業分野との連携も視野に入れて共同研究支援をしていきます。	
課長コメント	新製品開発、技術開発等経営革新を進める市内中小企業者等と大学との共同研究に助成を行い一定の成果をあげている。現状は、工業分野を中心に大学との連携を行っているが、さらに成果を上げるためには、他の産業分野と大学との連携も視野に入れて、事業の推進を図っていく必要があると考えています。また、コーディネーターの派遣は、制度の再構築が必要であると考えています。